

ウイルス性胃腸炎に注意！ (感染性)

県内や市内の幼保育園でウイルス性胃腸炎が流行しているようですが、本校でも今日突然の腹痛やおう吐・吐き気で17名の児童が欠席しました。明日から連休となりますが、お子様の健康管理には充分気をつけていただくようお願いいたします。

<ノロウイルスによるウイルス性胃腸炎>

①主な症状・・・**吐き気・おう吐、下痢、腹痛で発熱は軽度**です。これらの症状が1～2日続いた後に回復し後遺症もありません。症状が軽いかぜと似ているため、感染しているかは症状だけでは特定できないため、ウイルスの遺伝子検査などで診断されます。*潜伏期間：24～48時間

②感染の仕方・ノロウイルスは感染力が強く、感染経路はほとんど経口感染（ウイルスが口から入って感染すること）です。また症状がなくなっても1週間ほどウイルスが体内に残る（便の中に含まれる）こともあるので注意が必要です。

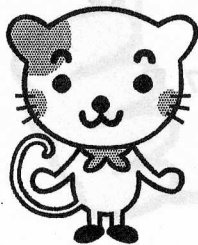
③予防法は？ ●手洗い・・・石けんでよく洗った後は、使い捨てのペーパータオルでしっかり拭き取るようにしましょう。

●消毒・・・次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤）が効果があります。吐いた場所などを必ず消毒してください。また、吐物がついた洗濯物を他の洗濯物と一緒に洗わないようにしましょう。乾燥機で仕上げるとウイルスも死滅します。

*家族内や集団生活での感染が多い病気ですので吐いた物の始末には充分気をつけていただき、まん延しないように気をつけていきましょう。



<お願い>



5月1日の登校時、朝、具合が悪くない場合でも、前日の夜や当日の朝に吐いたり、吐き気を伴う場合は、医師の診察を受けて休養いただくようお願い申し上げます。クラス内でおう吐すると他児童への感染につながりますのでお忙しいところ恐縮ですが、ご配慮くださいますようお願いいたします。

【集団施設の留意点】

- 乳幼児や高齢者施設では、初発症状としておう吐が多くなっています。
- 感染拡大を防ぐため、おう吐物に対するの注意が必要です。
- 職員もノロウイルスに感染し、その手指を介して施設内に感染を拡大させる場合があります。
- 多くの人に触れる場所をこまめに消毒することが感染拡大防止・集団発生の早期終息のポイントです。
- 症状のある人は、入浴は一番最後にシャワーにしましょう。

【消毒液の作り方】

- 台所用塩素系漂白剤原液（5%）から作る場合
- 通常の消毒：濃度 200ppm (0.02%)
水 2ℓに、原液をペットボトルキャップ 2 杯 (10ml) 加える。
⇒ドアノブ、手すり、調理器具など
 - 汚染がひどい箇所：濃度 1000ppm (0.1%)
水 2ℓに、原液をペットボトルキャップ 8 杯 (40ml) 加える。
⇒おう吐物やふん便が付いた床や衣類
※使用するときには十分な換気をしましょう。
※手が荒れるので手袋をしましょう。
※金属に使用した場合、さびることがありますので、約 10 分後に水拭きをしましょう。

ノロウイルスのはなし

- ①感染力が非常に強い(アメリカのボランティアによる試験で、ごく微量のウイルス(100 個)でも感染することが確認)。
- ②ウイルスは人間の小腸で増殖する(動物では増殖しない)。
- ③患者の下痢便(1 億個以上/g)、おう吐物(1000 万個以上/g)に大量のウイルスが存在する。
- ④通常の消毒薬は効かない(高濃度の塩素か熱湯)。
- ⑤30 種以上のタイプがあり、感染しても抗体(免疫力)は、半年くらいしかもたない(何度も感染する)。